

杉浦正一郎 しげのり 國文學者。明治四十四年二月九日兵庫縣生肌、

昭和二十一年二月二十三日歿（一九一七）。別名二崎成。昭和九年東

京帝國大學文學部卒。大塚圖書館司書研究員、千代田女子專門學校・

佐賀高等學校各教授、北海道大學助教授、九州大學教授歷任。

著書、杉山論『松本義一校註』、『星會集』（解説、昭和十七年二月十七日愛知・

若竹吟社「俳書文庫」）、『日本女流文學詳論』（合著・今井邦子編、

昭和十八年五月二十日越後屋書房）、『大和文學巡禮』（坪井明共編、

昭和十九年四月十日奈良・大塚時報社）、『日本女流文學詳論・近世

篇（中世・近世篇）』（合著・今井邦子編、昭和二十一年八月十日長

野・明日香書房）、『奥の細道研究』（合著・穂原浪藏編、昭和二十

二年九月五日京都・靖文社）、『現代日本文學手帖・詩歌篇』（合著

・矢野峰人監修、昭和二十七年五月一日創元社「創元手帖文庫」）、

『芭蕉とめぐりの人々』（合著・井本農一編、昭和二十八年一月二十五

日紫乃故郷舎）、『芭蕉著 可成りの道（附會良隨行日記）』（校註、

昭和二十一年一月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、『芭蕉研究』（昭

和二十二年九月二十日岩波書店）、『芭蕉文集』（宮本二郎 荻野 清共校注、

昭和二十四年十月五日岩波書店「日本古典文學大系」）等。